



講座のアピールポイント

日本で、そして世界中で、新型コロナウイルス感染症が大きな問題となっています。医師や看護師など、医療従事者として働く上で、感染症の患者さんの診療やケアを適切に行う能力はとても重要な資質です。そして、そのような能力を身につけるためには、「敵を知ること」、すなわち感染症の原因となる微生物について正しい知識や技術を習得することが大切です。

私達、微生物学講座は、医学部、看護学部、看護専門学校で、病原微生物に関する講義や実習を担当しています。また、高校生を対象として、微生物に関する体験型学習の企画なども行っています。

講座研究紹介

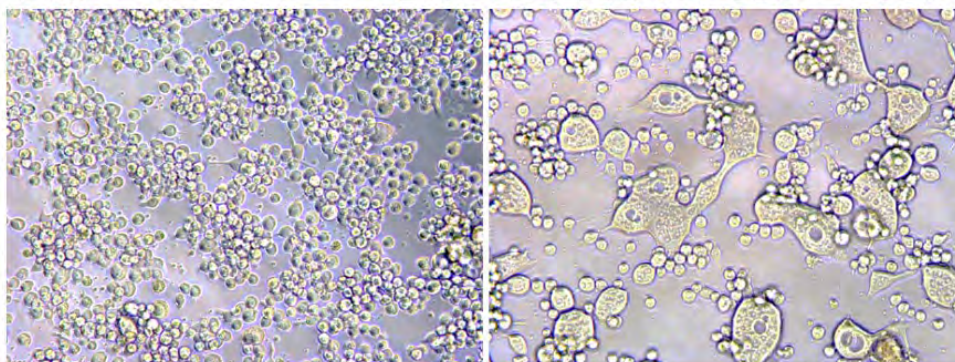
当講座では、ウイルス、細菌、真菌（かび）、藻類など、いろいろな病原微生物について研究を行っています。病原微生物と聞くと、「怖い」と思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、封じ込めのための設備や遺伝子組換え技術などを駆使して、安全な形で研究を進めています。

酵母の遺伝子制御に有用な物質を発見して特許を取得したり（2012年）、新種の病原藻類を見つけて論文発表したり（2016年）、抗ウイルス活性物質について国際特許を申請したり（2020年）したこともあります。

遺伝子工学的に改変したリンパ球を用いた免疫療法の研究、新たな抗ウイルス薬やワクチンの開発に向けた基礎研究なども進めています。

新型コロナウイルスなど、人類が感染症で悩まされるという問題が無くなることを目指しながら、新たな発見を求めて研究に取り組んでいます。

風邪コロナウイルスが感染した培養細胞に見られる変化



ウイルス感染前

ウイルス感染後